

# 仁短の幼稚教育学科には実践的な学びがいっぱい!

「豊富な実習」と「子どもと触れ合える環境」

仁短では各地の幼稚園や保育所などで10週間以上の実習を行います。また、キャンパス内にある附属幼稚園や近隣の仁愛保育園と連携して、普段の授業の中でも子どもたちの前で劇や演奏を披露するなど、子どもたちと触れ合いながら学ぶ機会が多くあります。



**初めての実習はどうでしたか?**

窪田 麗乃さん 幼児教育学科 1年 思っていた以上に書く書類が多くて大変だったけど、子どもたちがかわいいから頑張りました!実習の最終日は子どもたちとお別れするのが寂しかったです。

清水 歩美さん 幼児教育学科 1年 子どもたちが「せんせい」と呼んでくれて、毎日が楽しかったです。子どもたちが駆け寄ってきてくれる幸せな気持ちになります。

小川 希望さん 幼児教育学科 1年 実習に行く前は不安だったけど、幼稚園の先生が優しくサポートしてくれました。短大のキャンパス内にある幼稚園なので、安心して実習ができます!

私たちがオススメする授業はこれ!  
**幼児教育学科運動会**

企画・準備から当日の運営まで学生が自分たちで行う体育の授業「幼児教育学科運動会」では、競技の企画運営をまるごと経験できます。ひとつの事にみんなで取り組む中で、協力することの大しさや責任感を実感できる貴重な機会です。そして何より、とっても楽しいです!

毎年、かなり盛り上がります!

## YouTubeの「じんたん動画チャンネル」で仁短での「保育の学び」に触れられます!

例え…こんな動画があります  
あそびであそぼう!



幼児教育学科の先生や学生が、さまざまな手遊びを教えてくれるよ!一緒にやってみよう♪



ここからアクセス!



体験授業 身近な素材でおもちゃを作ろう

幼児教育学科の香月先生が、身近な素材と道具を使ったおもちゃ作りをレクチャー!

わらべうたであそぼう!

わらべうたの坂本流美先生と一緒に、歌って遊ぼう♪  
キャンパスツアー 附属幼稚園 篇  
実習などでお世話になる附属幼稚園を紹介!

キャリアサポート通信

福井で働く  
保育者の約60%が  
仁短卒

福井県内で活躍する保育者の6割以上が仁短の卒業生。50年以上にわたり地元に根ざした教育を行ってきた仁短で身につける保育の力が、確かなものとして保育の現場から信頼いただいているからこそ実績です。また、同窓のつながりが「実習や就職後のさまざまな場面で助けとなった」という学生や卒業生の声もたくさん届いています。

内定者インタビュー

子どもや保護者一人ひとりの気持ちに寄り添い受け止められる保育者をめざします。



土橋 美姫さん  
幼児教育学科 2年 仁愛女子高校出身  
内定:幼保連携認定こども園 保育教諭

就職活動中に園を見学させていただいた際、施設・設備がしっかり整った環境の中で過ごす子どもたちのいきいきとした姿や、先生方がしっかり連携して子どもと保護者一人ひとりに対し丁寧に関わることができている様子に魅力を感じ、「ここで働きたい!」と強く思いました。就職活動にあたっては、面接やピアノ、手遊びの練習に力を入れていたのですが、新型コロナウイルスの影響で「このままでは面接の練習が十分にできないのではないか?」という不安がありました。しかし、早々にオンラインでの面接練習が導入され、キャリア支援課の方から丁寧にご指導いただけたので、自信を持って面接に臨むことができました。先生や職員の方がとても親身で、就職や学校生活はもちろん私生活の悩みについても相談に乗ってくださることが、学生生活の大きな助けになっています。私も、子ども一人ひとりと丁寧に向き合い、その気持ちをしっかりと受け止められる保育者になりたいです。また、保護者の方にも大切なお子さんを安心して預けていただけるよう、日頃から相手の気持ちに寄り添って自分に何ができるかを考えることを心がけたいと思います。そして、夢や目標を言葉だけで終わらせるのないよう、いつも初心を忘れず理想の保育者をめざし一歩一歩進んでいきます。

入学に関するお問い合わせはこちらまで

入学・地域支援課

FREE 0120-05-6677 (受付時間 平日 9:00~17:00 土曜 9:00~12:00)

nyusi@jin-ai.ac.jp

仁愛女子短期大学のこと、  
もっと知りたい人は

<https://www.jin-ai.ac.jp>

仁愛女子短期大学

〒910-0124 福井県福井市天池町43-1-1  
TEL.0776-56-1133 FAX.0776-56-2922

# Jin-tan Press

ジンタンが今、みんなに伝えたいこと、知ってほしいこと。

Vol.4



## 保育のお仕事

保育に興味がある!子どもが大好き!  
でも、保育の仕事って実際どうなんだろう?  
気になる保育のあれこれにお答えします!  
中面では現役の保育者として活躍する卒業生に  
お仕事について聞いてみました!



どうすればなれるの?

まずは、幼稚園教諭の免許と保育士の資格を取得しましょう!

幼稚園教諭や保育士になるには、実はそれぞれ別の免許・資格を取得する必要があります。ただ、どちらも「子どもの成長を支え、可能性を引き出す仕事」であることに変わりはありません。仁短では、子どもの成長や発達などに関わるたくさんのことを学びながら、両方の免許・資格を取得できます。



どこで働くの?

主に幼稚園や保育所。  
そして、二つの資格を活かして働く  
認定こども園などです。

幼稚園教諭は幼稚園、保育士は保育所で働きます。ちなみに幼稚園は「児童を教育」、保育所は「乳幼児を保育」するもので実は制度も目的も異なる施設です。しかし、最近では二つの機能を併せ持つ「幼保連携認定こども園」が増えていてその境界は狭まっています。そこで保育者は「保育教諭」と呼ばれ、就業には幼稚園教諭免許・保育士資格の両方を持っている必要があります。



仕事のやりがいは?

育児を通じての社会貢献、  
子どもの成長に立ち会う喜び。  
そして何より、いっぱいの笑顔!

保育者は、人々が社会を維持するために必要な「子育て」の中で大きな役割を担う重要な存在。人のため・社会のためになる仕事です。その社会貢献度は計り知れません。また、自分の関わった子どもの成長を実感できることは嬉しいものです。そして何より、大勢の子どもたちの元気な笑顔と、たくさんの「ありがとうございます」が溢れる毎日は大きなやりがいにつながるはずです。



少子化と言われているけど  
保育者の求人は  
少なくならない?

共働き家庭の増加などにより、  
保育の専門家に対するニーズはますます高くなっています。

出生率は低下していますが、同時に夫婦共働きや親と別居する世帯が増えていることもあり、保育者の需要は伸びています。さらに、子どもの個性や家庭環境を理解した上での対応など、高い専門性を備えた「保育のプロ」の力を求める声は高まるばかり。また、経験が重視されるため結婚・出産を機に引退した保育者の復帰も大歓迎!というケースも多く、一生続けられる仕事となっています。

中面に  
つづく!

# 保育のリアル

答えてくれたのは  
このお二人！

仁短を卒業後、仁短のキャンパス内にある仁愛女子短期大学附属幼稚園に勤務する一年違いの先輩後輩。保育者としてはまだまだ新米だけれど充実した日々の中、子どもたちとともに急成長しているお二人にお話を伺いました！

子どもや保護者の方との信頼関係を築けるよう毎日を大切に過ごすことを心がけています。

幼稚園教諭  
**坪川 まゆさん**  
幼稚教育学科 2018年卒業



たくさん経験を積んで子どもや保護者の方からもっともっと信頼される保育者になりたいです！

幼稚園教諭  
**小泉 若菜さん**  
幼稚教育学科 2019年卒業

②

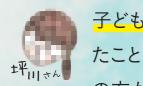
子どもから言われてドキッとした言葉はありますか？

坪川さん 「先生、今日のヘアゴムはリボンだね。」「前髪切った？」などと、自分の身なりについて言われた時です。「子どもはしっかり見ているんだな」と感心しました。

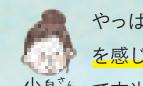
小泉さん 銀一言…とかではありませんが、子どもたちからの「〇〇ちゃんがけんかしてる！」や「泣いている子がいる！」のお知らせにはいつもドキリとさせられます。(汗)

1

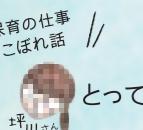
お二人にとっての保育の「やりがい」は何ですか？



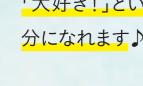
子どもの成長と笑顔を見られることです。楽しそうな笑顔を見ていると自分も嬉しい気持ちになります。また、できなかつたことができるようになったり、心が成長していく姿を見ると「この成長に関われて本当に良かった」と思います。保護者の方から感謝されることも大きなやりがいで。みなさん、お迎えの時や連絡帳のやり取りの中でたくさんの感謝を伝えください。こんなにたくさんの感謝の言葉をいただける仕事はそうそうないと思います。



やっぱり子どもの笑顔です。「今日も楽しかった！」「幼稚園が好き！」という元気な言葉が聞けることにも大きなやりがいを感じます。それと、行事を無事にやり終えた時の達成感。準備は大変だけど子どもたちの楽しそうな姿を見ると頑張って本当に良かった！と思えます。保育は幼い命を預かる仕事なので気の抜けない毎日ですが、「やっていて良かった」と思える瞬間にたくさん出会える素敵な仕事です。



とっても嬉しい「慕ってくれた」瞬間

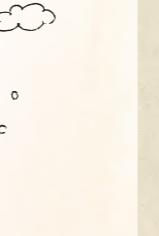


一緒に過ごすうちに「先生大好き！」と言ってくれたり、ぎゅっと抱きついてくれたりと「慕ってくれた」ことを実感できる瞬間があります。子どもたちが言葉や表情、仕草など全身で「大好き！」という気持ちを表現してくれると、とても幸せな気分になります♪



みんな  
おで  
飯は格別

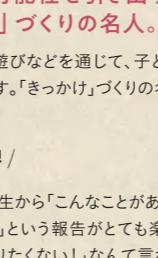
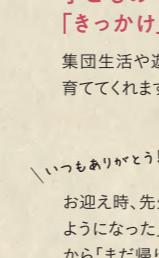
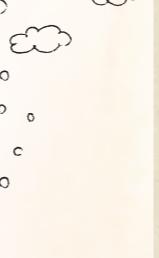
お城へ  
込め!



私たちの幼稚園の日常

園では規則正しい生活をするのが基本ですが、泣いたり笑ったり感情豊かな子どもたちと一緒に過ごす毎日は思いがけない出来事がいっぱい。季節ごとのイベントや園外保育などのお出かけも多く、子どもたちだけでなく保育者にとっても驚きや新しい発見に満ちた日々です。

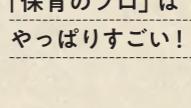
保育の仕事に  
「同じ一日」は  
ありません！



先生、いつも  
ありがとうございます！



「保育のプロ」は  
やっぱりすごい！



ここがすごい！

子どもの理解者、  
保護者の応援団。

子どもって親にも理解できないことだけ。だから、しっかりと子どもに寄り添って理解し、気持ちを代弁してくれる先生たちは、保護者にとって本当に心強い存在。頼れる応援団です。

子どもの可能性を引き出す  
「きっかけ」づくりの名人。

集団生活や遊びなどを通じて、子どもの可能性の芽を育ててくれます。「きっかけ」づくりの名人ですね。

いつもありがとう！

お迎え時、先生から「こんなことがあった」「〇〇ができるようになった」という報告がとても楽しみ。時には子どもから「まだ帰りたくない！」なんて言われてしまうことも…ちょっと寂しいけれど、楽しく過ごしている証拠ですね。

ここがすごい！

子どもをしっかり見守ってくれる、  
子育てに欠かせない存在。

子どもが上手に気持ちを言葉にできない時も先生が汲み取って言葉を引き出してくれます。子どもの成長に寄り添ってくれる頼りになる存在です。

どんな子どもにも動じない  
保育のプロ。

着替えも嫌、髪の毛結ぶのも嫌、と親を困らせるイヤイヤ期の子どもでも笑顔で受け入れてくれました。

いつもありがとう！

「〇〇先生は俺のことが好き！」(次男:自分が先生のことを大好きなくせに!)、「先生に髪の毛可愛くしてもらった～」(長女)などと、いつも嬉しそうに先生たちのことを話してくれる子どもたちを見て、とても安心できています。

保育の仕事の「あるある」や  
「笑ってしまったこと」を  
教えてください。

あるある/  
坪川さん

アニメに興味がなかった人が子どもに人気のアニメにはまる。

休日でも子どもを見かけると無意識に年齢予想をしてしまう。

子どもたちに人気のアニメや歌に触れるうちに自分もその作品や曲が好きになっている。

かわいい文房具を集めようになる。

まつよ/  
坪川さん

幼稚園ごっこをしている子どもたちが「では、トイレに行きましょう」「ちゃんと聞いていますか?」など、私たちの口調を真似てやりとりしているの聞いた時には、思わず笑ってしまいました。本当に見ていています。



保育者から  
保護者の方へ

保護者の方からのお言葉が  
励みになっています。

保護者の方との接点は主にお迎えの時間と連絡帳ですが、新年に入った時「今年も坪川先生で嬉しいです」と言っていただけたのがとても嬉しかったです。また、連絡帳に「園生活について丁寧に書いていただけるのと、家での会話に繋がっています」と書かれていた時には自分が「大切なこと」として意識してきたことが間違っていなかったと思え、励みになりました。

お迎えの時などに「子どもが先生のこと『大好き!』って言っています。」「家でも先生のことを話すんですよ。」と、お家で楽しく話題にしてくださっていることが聞けると、「ちゃんとお役に立っているんだ!」と、嬉しい気持ちになります。

